

第10回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

日時：平成31年2月19日（火） 午後13：15～15：15

場所：滝沢市役所 大会議室

出席者（19名） 佐野峯 茂 （滝沢市副市長）
（敬称略） 田村 清隆 （岩手県交通株式会社）
三上 金昭（代理：藤原 昌広） （岩手県北自動車株式会社）
大野 尚彦 （盛岡地区タクシー協会）
伊藤 純 （公益社団法人岩手県バス協会）
漆田 祐悦 （ジェイアールバス東北株式会社）
山口 実 （岩手県交通運輸産業労働組合協議会）
上野 幸子 （滝沢市男女共同参画サポーターの会）
佐藤 光保 （社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会）
白澤 仁 （滝沢市PTA連絡協議会）
阿部 正喜 （滝沢市商工会）
吉川 博幸 （国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
早坂 寛 （岩手県盛岡広域振興局経営企画部）
小松 幹也 （岩手県盛岡西警察署）
吉本 博之 （東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社）
福士 克也（代理：熊谷 優） （IGRいわて銀河鉄道株式会社）
菊地 信輝 （岩手県盛岡広域振興局土木部）
齋藤 克也 （滝沢市都市整備部）
宇佐美 誠史 （岩手県立大学総合政策学部）

発表者：13名 アドバイザー：17名 事務局：5名 その他：2名（別紙名簿のとおり）

傍聴人：1名 報道：2名

○配布資料

滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について（事務局報告資料）（資料1）

新たな公共交通施策の検討（学生発表資料）（資料2）

学生向け公共交通情報（学生発表資料）（資料3）

滝沢市地域公共交通網形成計画【概要版】

バスのおでかけたのしゅなっちゃんガイド（バスの乗り方教室テキスト）



1 開会

2 委嘱状交付

新委員 7 名の紹介

3 市長挨拶

委員の皆様には、日頃から本市の市政運営に御協力をいただき、また、本日は、お忙しい中、第 10 回目となります当会議に御出席賜り誠にありがとうございます。

さて、近年、人口減少やマイカー普及などの影響による公共交通の利用者の減少や交通事業者の運転士不足により、公共交通の維持が危ぶまれてきております。交通事業者におかれましては、路線を減便又は廃止せざるを得ないなど厳しい経営状況となっており、より効率的で将来にわたり持続可能な公共交通の在り方について考えて行かなければならないところであります。

このような現状を受け、市では平成 29 年 9 月に市の交通政策マスタープランとして「滝沢市地域公共交通網形成計画」を策定しております。現在、当計画に基づき、ビッグルーフ滝沢へ路線バスの乗入れを開始させるなど、市民・交通事業者・関係機関と連携しながら公共交通の維持・確保に向け、各施策に取り組んでいるところであります。

本日は、前回の会議以降に実施しました施策の取組内容について御報告申し上げます。また、当会議の会長を務めていただいております岩手県立大学の宇佐美准教授の授業で、学生の皆さんが検討しました公共交通の利用促進の施策について、発表をしていただく予定でございます。

結びになりますが、本日は人事異動等に伴い新たに 7 人の皆様を委員に委嘱させていただきました。委員の皆様には、活発な御協議をお願いいたしまして挨拶といたします。

4 報告

滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について

事務局：～「滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について」説明～

宇佐美会長：ただいま事務局から報告のありました内容につきまして、何か御質問・御意見等ございますでしょうか。

委員：（質問・意見等なし）

宇佐美会長：それでは次第4の報告については以上となります。

事務局：ありがとうございました。続いて、次第5の発表となりますが準備の都合がございますので5分間の休憩をいただきます。

5 発表

（1）新たな公共交通施策の検討

事務局：それでは発表に入らせていただきますが、始めに授業の概要等について、宇佐美会長から御説明をお願いいたします。

宇佐美会長：公共交通会議での発表は昨年度からやっているのですが、実はその前の年（平成28年度）にこの会議とは別に土地利用に関することを議論する都市計画審議会というのが滝沢市にありまして、最初はその会議の中で、当時の1年生が滝沢市のことを様々考え、滝沢市の課題について検討した内容を会議で発表してもらい、そのことについて議論を行っていました。その次からは、滝沢市の網形成計画にも大学との連携との施策もあったことからこの公共交通会議の場をお借りして発表を行ってきたという経緯があります。

本日の出席者名簿の中で滝沢市役所やアドバイザーの方が多くいらっしゃいますが、この方々のほとんどは授業にも御参加していただいて、昨年度からやってきました滝沢市の公共交通をどうしていこうかということと一緒に取り組んできました。この場をお借りして感謝を申し上げます。本日も様々アドバイスをいただけたらと思います。

いつも言っていることですが、アイデア合戦で終わるのではなく、実際に滝沢市の政策に入れていく、実現させていくことが滝沢市や授業に関わってくださった方にとって良いことだと思います。当然学生にとっても良いことですので、様々御意見をいただきながら良いものを作っていきたいと思っています。

そもそもこの授業「学の世界入門」は、総合政策学部だけでなく全学部の1年生が履修する授業で、前期は基礎教養入門を学び、後期は授業のねらいとして「現実社会の様々な現象や仕組みについて興味関心を深め、科学的思考を身につける」ことを目的としています。総合政策学部では、学生の希望を取った上で、8人の教員に割り振ってそれぞれの先生の専門性に応じた勉強をしています。私の授業では、現実の部分で成長してほしいので公共交通という身近な問題を取り上げて授業を進めています。

本日の発表では、1年生12人が発表させていただきます。また、昨年度もこの会議で発表させていただいた2年生のうちの一人が、昨年度の発表以降も継続して検討を進めてきた内容について報告させていただきます。

事務局：ありがとうございました。それでは発表に入らせていただきます。

①「バス乗り方教室」検討チーム

(岩手県立大学総合政策学部1年 市川 皓登、太田 圭香、尾形 陽人、前川 育緒佳)

発表者 : ~「バス乗り方教室」検討チームの発表~

事務局 : ありがとうございます。昨年度のバスまつりにつきましては、県交通様、県北バス様、ジェイアールバス様、また、あいにくの天気では運行はできませんでしたがミニSLをIGR様にと各事業者様に御協力いただきまして開催いたしました。

ここからはアドバイザーの皆様からも御発言いただけますので、委員及びアドバイザーの皆様、何か御質問、御確認したい点、また激励の言葉等含め何か一言ございますでしょうか。

宇佐美会長 : 先ほどの補足となりますが、昨年授業を履修した1年生(現2年生)の内3人が今年の1年生のアドバイザーというナビゲーター役として授業に関わってくれていて、1年生と一緒に検討を進めてくれています。このことの良い点は、上級生が下級生に教えることで検討した内容が代々引き継がれることだと思います。

是非アドバイスや励ましの言葉をよろしくお願いします。

アドバイザー : 私も昨年のバスまつりに参加させていただきました。先程も御紹介していただきましたが、「滝沢ナビ」というアプリの開発をさせていただいている滝沢市内の株式会社ぴーぷると申します。今回の提案の中で良いなと思っているのは交通ICカードのサンプル作成です。とても素敵な取組になると思います。ちゃぐぼんのデザインは現在、学校現場の様々な資料やポスター等にも使われていて、子どもにとって好きなデザインの一つだと思います。ICカードかバスカードか現時点ではまだわかりませんが、それらにちゃぐぼんのデザインを取り入れ、そのカードが子ども達の手元に残ると、カードを使ってみたく思ってくれるかもしれません。デザイン等は私たちも一生懸命協力します。資金面の方は各関係機関に交渉をして、実現させてほしいと思います。頑張ってください。

事務局 : その他ありますか。

無いようですので、次に移らせていただきます。改めて皆様拍手をお願いいたします。

②「公共交通マップ改善」検討チーム

(岩手県立大学総合政策学部1年 板垣 太旺、小松 将太、藤原 俊明、吉尾 優花)

発表者 : ~「公共交通マップ改善」検討チームの発表~

事務局 : ありがとうございます。実際に睦大学に出向き、直に高齢者の方の声を聞いていただいた上で様々な提案をいただきました。委員及びアドバイザーの皆様から何か御質問、御確認したい点、また激励の言葉等ございましたらお願いいたします。

委員 : 学生の皆さんがちょうど睦大学に来てくれた時に私が教えているパッチワーク教室に来ていただいて、いろいろとお話を聞いたのを思い出しました。睦大学の皆さんはやはり字が小さすぎるということを書いていましたので、その点を改善していただければもっと利用されると思いますのでよろしくお願いします。

事務局 : その他ありますか。

無いようですので、次に移らせていただきます。改めて皆様拍手をお願いいたします。

③「県大生向け情報提供」検討チーム

(岩手県立大学 総合政策学部1年 大森 拓実、小原 紀香、笹川 優香、中澤 晴樹)

発 表 者 : ~「県大生向け情報提供」検討チームの発表~

事 務 局 : ありがとうございます。具体的なアプリの開発からその後の維持管理まで、また今後の展開というかなり詳細な部分まで提案いただきました。委員及びアドバイザーの皆様から何か一言御感想等もございましたらよろしく願いいたします。

委 員 : まず弊社の写真をタイトルバックに使用していただきありがとうございます。

様々アプリを使った御提案をいただきました。本日は私以外にもアドバイザーとして営業部のメンバーもおりますので、本当に参考になるものが多々ありました。プレゼンの内容にも今後の展開があったように、我々の方でも一般的な業者にも展開していけるよう様々検討していきたいと思います。皆さんのこれからの御活躍も期待しております。本日はありがとうございます。

事 務 局 : その他ございますでしょうか。アプリということでぴーぷる様の方から何かございますか。アドバイス、今後の進め方、御感想等でも結構です。

アドバイザー : 楽しく発表を聞かせていただきました。様々な問題や課題はあるとは思いますが、聞いていてあったらいいなと思えるものがたくさんありましたので、我々も可能な限り一緒に取り組み、共同研究というかたちになるのかもしれませんが実現に向けて傍にいたいと思います。これからもよろしく願いします。

事 務 局 : 後はよろしいでしょうか。それでは改めて発表者の皆様に拍手をお願いいたします。

(2) 学生向け公共交通情報（昨年からの継続した取組）

岩手県立大学 総合政策学部2年 坂本 暁是

事 務 局 : それでは最後の発表となります。先程宇佐美会長からお話がありましたように、昨年1年間「学の世界入門」で検討し、2年生になった今でも継続して検討を進めているということで、その成果について発表をお願いしたいと思います。では坂本さんよろしく願いします。

発 表 者 : ~発表~

事 務 局 : 坂本さん、ありがとうございます。ただいまの発表について、御確認や御質問、御感想等ございましたらよろしく願いいたします。

アドバイザー : 発表ありがとうございます。先程の1年生の発表も聞かせていただいていたので、それを引き継いで更にブラッシュアップさせていて非常に素晴らしいなと思います。

一つのアイデアですが、発表でお配りいただいたパンフレットや名刺サイズの時刻表をアプリにPDF形式で掲載したり、もう少し噛み砕いて見やすくした表示にしてみてもどうかと思います。今の名刺サイズの時刻表ですと小さくて見にくいかと思われます。アプリにPDFで掲載した場合は拡大して表示することもできます。アプリというと発表の中の分析でも費用がかさむとの話がありましたが、PDFで掲載するだけであればそれほど費用もかかりませんので、検討してみてもほしいと思います。

発 表 者 : 御意見ありがとうございます。滝沢ナビへPDFで掲載していただける件についてもありがたく思っております。

また、お手元にお配りしている時刻表については、一部学生に配布して実証実験を始めております。まだ少ない人数ですが意見等を集約している段階です。集計はこれからですが、対象が学生ですので文字サイズは問題ないですが、色等工夫し、更に見やすくしたい

と思います。また、高齢者向けにはA4に印刷して使用することを考えております。

事務局：その他の方、何か他にございますでしょうか。

委員：バスロケーションの利用を皆様にしていただいております、ありがとうございます。

バスロケーションシステムは、基本は盛岡市中心に動いているシステムですので、これから滝沢市とも一緒になってやっていかなければならないと思っております。バス協会というよりもバス事業者としてこのシステムをどうしていくか議論しているところであります。

発表の中で更新にはあと10年かかるという話があり、どなたが言ったことかわかりませんがショックでした。10年もかけるつもりはなく、もっと早く実現できるように今のシステムを全般的に見直さなければならないのですが、いずれにしても学生の皆さんが使っているのはスマホを中心としたシステムですので、そういうシステムになってくるかと思っております。既にバス事業者さん側では検索システムを持っていますが、それを相互利用一つの検索システムで見れるようになるかすぐには約束できませんが、見やすいかたちに早めにしていきたいという気持ちは持っております。是非これらのシステムについては御利用いただいて御意見等いただければと思います。

発表者：御意見ありがとうございました。私もよくバスロケーションシステムを利用していますが、是非早めに新しいシステムができればいいなと思っております。また、時刻表にバスロケのQRコードを掲載させていただきましたので公認いただければ今後助かりますので御協力をお願いいたします。

事務局：ありがとうございます。交通事業者の方、他に何か感想等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは坂本さん大変ありがとうございました。改めて皆様拍手をお願いいたします。

(講評)

事務局：それでは発表の方は以上となります。本日は、国土交通省東北運輸局交通企画課から菊地課長様がいらっしゃっております。菊地課長様におかれましては12月19日の中間発表の際にも滝沢市にお越しいただきアドバイスをいただいております。せっかくの機会ですので菊地課長様から発表に対して御講評をいただければと思います。よろしく願いいたします。

東北運輸局交通企画課：お世話になっております。東北運輸局交通企画課長の菊地と申します。本日は貴重な機会にお呼びいただきましてありがとうございます。

菊地課長：まず初めに本日発表いただいた県立大学の皆様お疲れ様でございました。これだけのメンバーの前で発表するのは中間発表の時の比じゃないくらい緊張されていたんじゃないかと思っております。プレゼンも元々上手かったのですが中間発表の時よりも更に上手くなっていましたのでしっかり練習をされたのだと思います。前回から見させていただいた立場からするとすごく良かったなと思っております。

ひとつひとつ感じたことをお話しさせていただきます。まず最初に、バスの乗り方教室検討チームのところですが、昨年実際に先輩方がやったバスの乗り方教室を滝沢市さんの方で実現していただいて、網形成計画にもあるように大学と連携して実現させた良い事例だと思っております。それを更に改善して、子どもにもっと興味を持ってもらえるように改善していくとの内容ですが、その中でも交通ICカードのサンプル作成の企画を今回入

れていただいておりますが、先日滝沢市さんと県立大学さんにも網形成計画の施策の発表で参加いただいたおでかけ交通博というイベントがあったのですが、その中で我々もやってみました。ここに実物があるのですが、サンプルということでIC機能もないただのプラスチックのカードですが、おでかけ交通博の参加者も楽しそうに作成していましたので、子ども達も喜んで参加してくれる企画になると思います。

次に公共交通マップのチームですが、中間発表を聞いた時には詳細な対象がまだ決まっておらず、高齢者という大きなカテゴリーとなっていて苦労しているという印象でした。しかし、今回の発表では、高齢者の方が使い易いマップを目指し、必要な情報を取捨選択することとして検討が進んでいましたので、今後は実際に使い易いものになるように検討を具体化していくと良いのかなと思います。

次に県大生向け情報提供のアプリやホームページについてですが、中間発表の時にも具体化できていましたが、今回はぴーぷるさんの協力もあり、より具体的になっており、また予算面についても検討が進んでいて実現性が高い取組だと感じています。その中でアプリでの定期券購入もありましたが、秋田県の羽後交通さんが既に取り組んでおり、不正購入防止の対策もやっていることからそのような先進事例も取り入れながら進めていってほしいと思います。

最後に昨年から検討を進めている坂本さんですが、昨年の方も県立大生向けにパンフレットを作っていましたが、それを更にブラッシュアップされて公共交通のことをよく考えていただいて頭が下がる思いです。新たに作成した時刻表は新入生にどんどん配って意見を聞いてそれを取り入れていくと良いと思います。

ここにいる皆様にもお願いとなりますが、本日の発表のように学生の皆さんが考えてくれた取組の一つでも多く実現できるように御協力をよろしく願いいたします。長くなってしまいましたが以上となります。ありがとうございます。

事務局：菊地課長様ありがとうございました。続きまして、主濱市長からも御講評をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

主濱市長：発表を聞かせていただきました。ありがとうございます。

最初のバスの乗り方教室チームの発表ですが、要約すると「もっと気軽にバスを利用しましょう」という提言だと理解しております。後ほど私の持論を申し上げますが、その時には是非とも参考にさせていただきたいと思います。

次の高齢者向けマップのチームですが、このチームが検討した内容は高齢者向けということで非常に重要だと思います。滝沢市のみならず全国的に高齢化が進んでおります。高齢化が進展すると高齢者の公共交通機関の確保に考える必要がでてきます。そういうところで非常に参考となるものがあったと思います。

次に県立大生向けアプリのチームですが、このチームの内容は公共交通のことを考えるきっかけとなった部分でもありますので、後ほど解説をさせていただきたいと思います。

次に坂本さんの学内情報を掲載するマイパンフレットの提言ですが、これもまた一歩進んだ内容でした。

発表者の皆さんは勉強の傍らここまで研究を進められたのは本当に素晴らしいことだと思います。

滝沢の交通を考えますと、私自身が中学生の時に思ったことですが、滝沢の交通はみんな

な盛岡駅を目指しているということです。滝沢の南端は国道46号と田沢湖線が通っていて、全部盛岡駅やマリオスを目指しています。また、東端は国道4号とIGR（昔は東北本線）が通っていますが、これもまた盛岡駅やマリオスを目指しています。滝沢の生い立ちを考えればそれは当然であり、実際に現在でも半数以上の方はこれを利用しています。通勤、通学、通院で滝沢から盛岡に向かい、夕方に盛岡から滝沢に帰ってくるという流れが滝沢の長年の歴史にあります。

私が目指したい将来像は、滝沢に中心市街地があって、南の方も東の方も中心市街地を経由して滝沢市内を直接行き来できないかと考えています。中心市街地に行けば市役所や病院に行ける、買物ができる、図書館で勉強できる、総合公園で運動もできる、夜も飲食できる、そのような賑わいのある魅力のある中心市街地というものがあって、そこに公共交通が通ることが良いのではないかと考えています。

先程申し上げたようにこれから高齢化の時代になります。そういう時に若い人だけのマイカー社会だけを考えていてはなかなか難しいと思います。高齢化を見据えて公共交通を走らせることが必要ですが、バス事業者も需要が少なければ運行できないので、需要を創出するために中心市街地を作り、そこに公共交通を通し、その上で公共交通を大いに使っていただくという流れかと思います。そういったところを検討していく段階では本日の発表を大いに参考にさせていただき、高齢者も小さい子どもも利用できるような公共交通網を作っていければと思います。本日はどうもありがとうございました。

事務局：主濱市長ありがとうございます。その他委員及びアドバイザーの皆様、全体を通して御質問等ございませんでしょうか。

それでは以上をもちまして発表を終わらせていただきます。

6 その他

事務局：続きまして、次第の6、その他でございますが、皆様から何かございますでしょうか。

出席者：（質問・意見等なし）

事務局：～スマートICの開通について情報提供～

事務局：それでは、閉会に当たりまして、事務局より一言御挨拶を申し上げます。

齊藤都市整備部長：大変お疲れ様でございました。本日の会議で感じたことを申し上げますと、私達はやはり利用者の立場に立って考えていかなければならないということを学生の皆さんの発表を聞いて思ったところでございます。今後ともこの会を通じて関係者が連携をしていけるよう事務局としても取り組んで参りたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、第10回滝沢市地域公共交通会議を閉会させていただきます。本日は大変ありがとうございました。